
寂しさを埋めるには

yuacha

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

寂しさを埋めるには

【Nコード】

N2720J

【作者名】

y u a c h a

【あらすじ】

寂しさを紛らわすために今日も私はメル友を探す。

外はすっかり荒れて、季節は冬になった。

毎年のことだが、冷え性の私は寒さに慣れることもなく、今日もまた体をふるわせながらベッドに入った。

1人暮らしをするようになってからか、それとも携帯を持って知らない人とメールをするようになってからなのか：

夜になって誰かとコンタクトをとらないと、とても不安になるようになった。

誰かと常につながってないと、孤独でおしつぶされそうになる。

1人になるのが嫌だしとても寂しい。

単なる過度な寂しがり屋なのかもしれないってのもあるけど：

だから私はいけない、と思いながらも今日も掲示板でメル友を募集する。SNSサイトで知らない人とメールのやりとりをする。

その中で1人、とても気が合い、私と同じく寂しいという人とよくメールのやりとりをするようになった。

私は1人暮らしの大学生で彼は東京で寮に入り毎日仕事をしている。私の住んでいるところとは少し距離があるが、彼の実家は、私の今1人暮らししてる場所に近いということで話もよく弾んだ。

彼は夜勤だったので生活がずれているが、彼となるべく多くメールしたいっていう思いが強くなり頑張って遅くまで起きてたりした。そんなことが続いて1ヶ月が過ぎる頃：

「会いたい」って言われた。
私も好きになってたし、彼が会いに来て泊まるということで承諾した。

高校の頃は恋愛に無頓着だった私。

まわりは彼氏作って、初体験もするのが普通だったのに。

勉強とインターネットと食べることしかないグータラな毎日。

だけど性欲だけは強かった私。

エロサイトみて家族に白い目で見られることもあった。

けど関係ないし！って感じで好き放題してた。

こんな田舎にいたら彼氏もいらんわって思ってた。

けどずーっと彼氏いる友達うらやましかったんだよね。

キスしたり手つないでデートしてプリクラとって……

恋人として普通のことをしたかった。けどこんなデブスにできる

わけないから諦めてたし考えたくもなかった。

けどふとした時にうらやましくなる。

本当に本当にうらやましかった。

私がこうなるためには？

春休み利用してわかるっきゃないじゃん！

だから、大学に入る前にダイエットして化粧をして髪を染めてパーマにした。

変わって、新しい自分になりたいと思った。過去の自分なんて無いものにしかかったんだ。

大学では新しい自分で生きる。
ずーっと欲しかった彼氏も作りたいし、サークル、バイトとすべて
楽しみだった。

けど現実はそんな甘くないんだよね。

入った学科は女しかない。

バイトは女しかないケーキ屋。

サークルも女しかない。

高校のときみたいに出会いなんかなかった。
しかも田舎。

ナンパ？

んなのされる雰囲気もねーよ

駅までバスで1時間。

車はない。

友達とはカラオケしか遊ぶところがない。

だから自然とインターネットするようになり、休みの日は部屋に引
きこもり気味になった。

まわりの友達と彼氏ほしって叫ぶ日々。

毎日サークル☆バイト忙しい♪

彼氏とラブラブ☆☆

なーんてマンガの見過ぎだったみたい。

だけど…だけどね……

あたしの彼氏ほしいって欲求は強まってくばかり。

そんな時に掲示板のメル友・SNSでの知らない人とのメールのやりとりを覚えた。

1回覚えたら猿みたいにやりまくる。

あ、もちろんメールをね☆

それから少しして出会ったのが彼だったの。

彼は、私がずっと欲しかった彼氏になるかもしれない。手をつないだりキスしたり、そんな欲求を埋めてくれるかもしれない。

もちろん彼のことはそんなこと関係なしに大好きだよ。

実際あったら、いきなりキス。

そしてエッチした。

初めてだったけど、痛くなかった。
もったいたくなった。

処女だから大切にとってのあるけどあたしは何も思わない。
だからエッチした。

けど痛くもなければ気持ちよくもない。
相手が出すもの出したら終了。

へーこんなもんか

これが感想

彼は2泊してっただけどほとんどエッチしかなかった。

筋肉痛になった。

約2週間後にまたきてくれて同じことした。

けど帰ってから4日後。

突然別れがきた。

なかなか会えないの辛いから別れる

だつてさ。

そのときはあたしショックで泣いて訴えたけどダメだった。

あっけなく電話きられて終わった。

今思えばやり目に近かったんだよね。

けど私はあたしは何もわかってなかった。

まさか終わるとは思わないから死にそうになった。

そしてその寂しさを埋めるために

今日もメル友を探す

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2720j/>

寂しさを埋めるには

2011年1月26日01時28分発行